

令和元年松本市議会 12月定例会

市長提案説明

[元.12.2(月) PM1:00]

本日ここに、令和元年12月定例会を招集いたしましたところ、議員の皆様方にはおそろいでご出席をいただき、厚く御礼を申し上げます。

今定例会の提案説明に先立ちまして、市政運営における課題などについて若干申し上げます。

まず、「台風第19号による災害支援」について申し上げます。

台風第19号による甚大な被害が発生してから間もなく2カ月が経過いたします。長野県内の被害総額は、11月21日の時点で、2,464億円に及ぶと公表され、改めて、その被害の甚大さを認識し、復旧、復興の長い道のりを考えると、大変心が痛む思いであります。

松本地域におきましては、市消防団による被災地区でのボランティア活動を始め、市社会福祉協議会や大学などによるボランティア派遣、炊き出しボランティアによる食事支援、中学校生徒会による必要物資の支援や義援金を送る活動など、様々なお立場から温かな支援を行っていただいておりますことに、敬意を表し、深く感謝を申し上げます。

松本市におきましても、県内の市町村と連携して、被災地の長野市や千曲市に、土砂や災害ごみの処理、罹災証明や生活再建支援制度の受付業務などの支援職員を派遣しており、11月末現在で延べ440人余りが、復旧、復興の支援活動を行っております。

被災地と被災者の皆様が、困難を乗り越え、力強く立ち

上がるよう、松本市といたしましても引き続き、復興への合言葉「ONE NAGANO」（ワン・ナガノ）で支援活動を行ってまいります。

次に、11月11日から15日まで派遣をいたしました、「カトマンズ市との姉妹都市提携30周年の公式親善訪問事業」について申し上げます。

今回、団長を務めた坪田副市長からは、カトマンズ市主催の歓迎会ではシャクヤ市長を始め、地区長などの皆様と心温まる交流をし、また、市内中学校との交流のあるバンヌバクタ記念学校では、校長先生を始め、約1,000人の児童生徒による歓迎セレモニーが催され、熱烈な歓迎を受けたと聞いております。

さらには、カトマンズ市武道館では、姉妹都市提携30周年記念事業の柔剣道大会が開催され、青少年による剣道と柔道の決勝を訪問団が観戦いたしました。

その大会の中で、松本市訪問団の一員が、剣道の模範演武を行った際には、キラキラと輝く眼差しで、演武に見入る青少年の真剣な姿を目の当たりにし、異なる文化を学ぶカトマンズの青少年から、積み重ねてきた交流の成果を、肌で感じる事ができたとの報告を受けております。積極的に交流を深められた村上議長を始めとする団員の皆様には、心から感謝を申し上げます。

私といたしましても、30年に渡り、育まれた姉妹都市との交流が、青少年の世代へと受け継がれ、交流の輪が着実に広がっていることを再確認したところであり、今後も、特に子どもや若者を中心とした市民交流が一層深まることを期待するとともに、絆がより強まるよう、議会の皆様方のお力添えをお願い申し上げます。

次に、先月 18 日から 22 日まで実施いたしました「平日ノーマイカーデー」について申し上げます。

ご承知のとおり「平日ノーマイカーデー」は、昨年度は初めての試みで、1 日限定で実施いたしましたが、市民の皆様にも、さらにご理解いただけるよう、今年度は 5 日間実施いたしました。

昨年度と同様、バスを増便し、「あがたの森通り」にバスレーンを設けたことに加えて、臨時パークアンドライド駐車場にシェアサイクルを用意するなど、新たな取り組みも行ったところ、多くの皆様にノーマイカー通勤を実践していただきました。ご協力いただいた関係各位の皆様にも、改めて感謝を申し上げます。

今後とも、環境にやさしい、歩いて楽しい城下町づくりに向けて、ノーマイカーデー、パークアンドライドや自転車利用の促進などを通じて、市民の皆様への意識啓発を図り、自動車優先社会からの転換と公共交通を軸とした、「次世代交通政策実行計画」に基づく、「多様な交通手段により人々が集う交通のまちづくり」を進めてまいります。

次に、「松本城の世界遺産登録に向けた取り組み」について申し上げます。

ご承知のとおり、松本城の世界遺産登録につきましては、平成 13 年度に「国宝松本城を世界遺産に」推進実行委員会を立ち上げ、市民の皆様とともに推進運動に取り組んでまいりました。

現在、犬山城並びに松江城とともに、既に世界遺産となっている姫路城などを含めた、「日本の近世城郭の天守群」としての一体的な登録に向け、国内手続きの第一歩となる、文化庁の暫定リストに掲載されるよう、鋭意取り組んでお

ります。

世界遺産を所管するユネスコ（国連教育科学文化機関）は、近年、登録にあたり、市民や地域全体での盛り上がりも重要としております。

こうした中、先月21日、22日には、国宝3城の市民団体が、愛知県犬山市において、初めて一堂に会して、勉強会と意見交換を行い、今後も連携して活動を進めていくことが確認されたところであります。市民並びに民間団体の活動が一層、盛んになりますよう期待しているところでございます。

次に、「保育園等の待機児童の状況」について申し上げます。

ご承知のとおり、10月1日から、幼児教育・保育の無償化が実施されました。無償化の実施に当たっては、準備期間が短い中ではありましたが、保護者の皆様や各施設の関係事業者のご協力により、スムーズに移行することができました。

課題となっております、松本市における保育園等の待機児童数は、無償化により増加が懸念されておりましたが、令和元年10月1日現在で62名であり、前年同月比では、9名減少いたしました。

このことは、これまで、本市が進めてまいりました、正規保育士の採用増や嘱託保育士の処遇改善に加え、市施設のハード整備や民間事業者への開設支援による待機児童解消の対策が、功を奏し始めてきたものととらえております。

今後とも、国が目指す、令和3年3月末の「待機児童ゼロ」を目標として、引き続き、計画的に具体策を講じてま

まいりますので、議会の皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

次に「子ども家庭総合支援拠点の設置に向けた取組み」について申し上げます。

平成30年度に、全国の児童相談所が対応した児童虐待相談件数は約16万件に上り、前年度から、約2万6千件増加し、過去最多となりました。このことは、長野県においても例外ではなく、県内の児童相談所が受け付けた児童虐待相談は、約2,400件で前年度から300件以上増加し、過去最多となっております。

このため、国では本年、児童福祉法を改正し、しつけを名目とした体罰の禁止を明記したほか、自治体に「子ども家庭総合支援拠点」の設置を促進する措置を講じ、対策を強化しております。

本市におきましても、児童虐待の予防と早期発見を目的に、子どもに関するあらゆる相談の窓口として、「子ども家庭総合支援拠点」の設置準備を進めているところでございます。

今後、こうした拠点の活用等を通じて、平成25年制定の「松本市子どもの権利に関する条例」において掲げた、「すべての子どもにやさしいまちづくり」を「キッズアンドユースデモクラシー」、つまり、次代を担う子どもと若者を育み、命を未来へとつなぐ視点のもと、強かに推進してまいりますので、皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

次に、「市役所新庁舎の建設」について申し上げます。

市役所新庁舎の検討につきましては、去る11月20日

に開催いただきました、市役所新庁舎建設特別委員会におきまして、昨年7月に策定いたしました「松本市役所新庁舎建設基本構想」を具体化し、「建設理念」や「基本的な考え方」などの実現を図る方策などを定め、今後、新庁舎の設計を進める上での要件となります、「松本市役所新庁舎建設基本計画（案）」についてご協議申しあげ、委員の皆様から多くの貴重なご意見をいただいたところでございます。

現在、特段のご配慮を賜り、パブリックコメントを実施しておりますが、今後、開催を予定しております市民説明会や新庁舎建設市民懇話会における、市民の皆様の声に耳を傾け、改めて市議会へご協議申しあげることとしております。

市役所新庁舎の建設にしっかりとした道筋をつけるべく、本年度内の基本計画の策定に向けて取組みを進めてまいりますので、引き続き、議員の皆様におかれましては、ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

次に、「松本市立病院の経営体制の確立」について申し上げます。

松本市立病院につきましては、厳しい経営状況から病院事業管理者設置の必要性を認識し、設置するまでの間、昨年10月から、諏訪赤十字病院名誉院長の小口壽夫先生に特命参与として就任いただき、病院職員が一丸となり経営改革に取り組んでまいりました。

おかげさまで、現在、黒字基調に回復しておりますので、この状況を更なる経営改善につなげていくため、今定例会に病院事業管理者の設置に係る、関係条例の改正議案を提出しておりますので、よろしくお願いいたします。

続きまして、令和2年度の予算編成について申し上げます。

まず、その前提となる現在の日本の経済動向について若干申し上げます。

日銀が10月に発表した「短観（9月調査）」によると、大企業、中堅企業、中小企業を合わせた全産業トータルの業況判断指数（DI）は、前回の6月調査に比べ、2ポイント悪化し、大企業・製造業は3期連続で悪化しており、平成25年（2013年）6月以来の低水準となっております。

次に、長野県の経済状況ですが、日銀松本支店は、先月6日に発表した「長野県の金融経済動向」において、「『個人消費は底堅く推移して』おり、『雇用・所得は着実な改善』が続いている。また、『設備投資は増加しており』、『生産は、高水準横ばい圏内で推移している』ことから、長野県経済は、『緩やかに拡大している』」と判断しております。

一方、松本市の経済状況につきましては、建設業、サービス業など、一部好調な業種もあるものの、10月30日発表の、「令和元年9月中小企業景気動向基本調査」における全産業での業況DIは、前年同月比マイナス5.9ポイントと、依然として水面下にあります。今後の見通しについても、「上昇しそう」と予測したのはわずか5パーセント程度であり、多くの事業者が、なかなか先行きに明るい展望を抱けないでいる状況がうかがえます。

こうした経済の動向の中、取り組んでまいります、令和2年度の予算編成について申し上げます。

ご承知のとおり、令和2年は市長選挙の年にあたるため、

明年度の当初予算は骨格予算として編成をいたします。従って、当初予算では、経常的な経費や、継続事業を中心に、市民生活に影響をきたすことのないよう、必要なものについて、予算計上してまいります。

それでは、ただいま上程されました議案について、ご説明申し上げます。

本日提案申しあげました議案は、条例 7 件、契約 1 件、財産 1 件、道路 1 件、その他 1 8 件の、合わせて 2 8 件となっております。

まず始めに、条例でございますが、病院事業管理者の設置に係る関係条例を一括改正するもの、地方公務員法等の一部改正により、令和 2 年 4 月から会計年度任用職員制度が導入されることに伴う条例の制定など、制定 3 件、有料自転車駐車場のうち一部を無料化するもの、人事院勧告による国家公務員の給与改定に準じ、期末手当の支給率の見直しなどをするためのもなど、改正 4 件を提出しております。

次に、契約につきましては、平成 3 1 年 2 月定例会で議決されました、松本市防災物資ターミナル新築主体工事の請負契約につきまして、請負金額変更の必要がありますことから、議決更正 1 件をお願いするものでございます。

財産につきましては、松本城南・西外堀復元事業用地の取得 1 件を提出しております。

その他の議案といたしましては、市道の認定 1 件、浅間温泉文化センターなど、3 2 の公の施設に係る指定管理者の指定に関する議案 1 8 件を提出しております。

また、議案以外のものとして、市長の専決処分事項の指定にかかわる報告 1 件を報告いたしております。

以上、本日提案いたしました議案等についてご説明申し上げましたので、よろしくご審議を賜りますようお願い申し上げます。

(以 上)